

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【公開番号】特開2013-75516(P2013-75516A)

【公開日】平成25年4月25日(2013.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2013-020

【出願番号】特願2012-196784(P2012-196784)

【国際特許分類】

B 4 1 F 11/00 (2006.01)

B 4 1 F 13/00 (2006.01)

B 4 1 F 21/10 (2006.01)

【F I】

B 4 1 F 11/00 Z

B 4 1 F 13/00 C

B 4 1 F 21/10

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月30日(2015.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の部分版胴と、

複数の前記部分版胴が当接する集合ゴム胴と、

前記集合ゴム胴に対接する集合版胴と、

前記集合版胴に対接するゴム胴と、

前記ゴム胴に対接する圧胴と、

前記複数の部分版胴ヘインキを供給すべく当該部分版胴のそれぞれに対応して設けられた複数のインキ装置を当該部分版胴に対して近接離反可能に支持する移動インカーと、
を有しシートに対してザンメル印刷を施すザンメル印刷ユニットを備えたザンメル印刷機
において、

前記ゴム胴は前記部分版胴と同じ直径の単胴であり、

前記ゴム胴の前記集合版胴及び前記圧胴との対接箇所との間の円周長さが、前記ゴム胴の円周全長から有効印刷長さを差し引いた非印刷長さ以内となるように、前記圧胴、前記ゴム胴、前記集合版胴が配設されている、
ことを特徴とするザンメル印刷機。

【請求項 2】

前記集合ゴム胴を前記部分版胴の 3 倍の直径を有する 3 倍胴で構成し、前記集合版胴を
前記部分版胴と同じ直径の単胴で構成すると共に、前記圧胴を前記部分版胴の 2 倍の直径
を有する 2 倍胴で構成し、

隣接する前記部分版胴の間に前記集合ゴム胴へのアクセスを許容する作業空間を形成す
るよう間隔をあけて前記部分版胴を配設し、

前記作業空間を介する前記集合ゴム胴へのアクセス及び前記ゴム胴へのアクセスを前記
ザンメル印刷ユニットと前記移動インカーとの間に形成された第 1 空間から行うことを可
能とし、

印刷機内へのアクセスを前記ザンメル印刷ユニットの前記第 1 空間とは反対側の第 2 空

間から行うことを可能とした、

ことを特徴とする請求項 1 記載のザンメル印刷機。

【請求項 3】

前記圧胴の中心と前記ゴム胴の中心とを結ぶ線分と前記ゴム胴の中心と前記集合版胴の中心とを結ぶ線分とのなす前記圧胴と前記ゴム胴との対接箇所から前記ゴム胴の回転方向下流側の角度が、前記ゴム胴の前記集合版胴及び前記圧胴との対接箇所の間の円周長さをゴム胴の円周全長から有効印刷長さを差し引いた非印刷長さ以内とするように設定されている、

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のザンメル印刷機。

【請求項 4】

前記圧胴の中心と前記ゴム胴の中心とを結ぶ線分と前記ゴム胴の中心と前記集合版胴の中心とを結ぶ線分とのなす前記圧胴と前記ゴム胴との対接箇所から前記ゴム胴の回転方向上流側の角度が、前記ゴム胴の前記集合版胴及び前記圧胴との対接箇所の間の円周長さをゴム胴の円周全長から有効印刷長さを差し引いた非印刷長さ以内とするように設定されている、

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のザンメル印刷機。

【請求項 5】

シートを前記ザンメル印刷ユニットへ供給するシート供給装置と、

前記シート供給装置と前記ザンメル印刷ユニットの前記圧胴との間に設けられ、一方の軸端を他方の軸端に対して傾斜させるひねり調整機構を備えた第 1 渡胴及び隣接する胴に対する位相を調整する天地調整機構を備えた第 2 渡胴と、

を備えたことを特徴とする請求項 3 又は 4 記載のザンメル印刷機。

【請求項 6】

前記シート供給装置と前記ザンメル印刷ユニットの前記圧胴との間に設けられた渡胴に保持搬送されているシートに対して印刷を行うインキジェット装置を設けたことを特徴とする請求項 5 記載のザンメル印刷機。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 の何れかの一つに記載のザンメル印刷機におけるザンメル印刷ユニットの前記圧胴と少なくとも 1 つの渡胴で連結された圧胴と、前記圧胴と対接するゴム胴、前記ゴム胴と対接する版胴を有し、シートに対してオフセット印刷を行うオフセット印刷ユニットを備え、

前記オフセット印刷ユニットは、印刷機で印刷可能な最大長さのシートの印刷が終了したのち隣接する胴へシートを受け渡すように前記ゴム胴が配設されていることを特徴とする組合せ印刷機。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 6 の何れかの一つに記載のザンメル印刷機におけるザンメル印刷ユニットの前記圧胴と少なくとも 1 つの渡胴で連結され、シートに対してオフセット印刷を行うオフセット印刷ユニット及び / 又は凹版印刷を行う凹版印刷ユニットを備えたことを特徴とする組合せ印刷機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

前記目的を達成するために、本発明に係るザンメル印刷機は、

複数の部分版胴と、

複数の前記部分版胴が当接する集合ゴム胴と、

前記集合ゴム胴に対接する集合版胴と、

前記集合版胴に対接するゴム胴と、

前記ゴム胴と対接する圧胴と、

前記複数の部分版胴へインキを供給すべく当該部分版胴のそれぞれに対応して設けられた複数のインキ装置を当該部分版胴に対して近接離反可能に支持する移動インカーと、
を有しシートに対してザンメル印刷を施すザンメル印刷ユニットを備えたザンメル印刷機
において、

前記ゴム胴は前記部分版胴と同じ直径の単胴であり、

前記ゴム胴の前記集合版胴及び前記圧胴との対接箇所の間の円周長さが、前記ゴム胴の円周全長から有効印刷長さを差し引いた非印刷長さ以内となるように、前記圧胴、前記ゴム胴、前記集合版胴が配設されている、
ことを特徴とする。

また、

前記集合ゴム胴を前記部分版胴の3倍の直径を有する3倍胴で構成し、前記集合版胴を前記部分版胴と同じ直径の単胴で構成すると共に、前記圧胴を前記部分版胴の2倍の直径を有する2倍胴で構成し、

隣接する前記部分版胴の間に前記集合ゴム胴へのアクセスを許容する作業空間を形成するよう間隔をあけて前記部分版胴を配設し、

前記作業空間を介する前記集合ゴム胴へのアクセス及び前記ゴム胴へのアクセスを前記ザンメル印刷ユニットと前記移動インカーとの間に形成された第1空間から行うことを可能とし、

印刷機内へのアクセスを前記ザンメル印刷ユニットの前記第1空間とは反対側の第2空間から行うことを可能とした、

ことを特徴とする。